

認定の考え方（良性石綿胸水・びまん性胸膜肥厚・後腹膜線維症）

疾患名	認定要件
良性石綿胸水	<p>胸水は、石綿以外にもさまざまな原因（結核性胸膜炎、リウマチ性胸膜炎など）で発症するため、良性石綿胸水の診断は、石綿以外の胸水の原因を全て除外することにより行われます。そのため、診断が非常に困難であることから、調査・認定部会が協議した上で、本制度上の疾病として認定するか否かの判断をします。</p>
びまん性胸膜肥厚	<p>浜見保育園のばく露により発症したびまん性胸膜肥厚であって、肥厚の広がりがある一定の基準に該当し、著しい呼吸機能障害を伴うもので、石綿ばく露期間が概ね3年以上ある場合（次の①～③全てを満たす場合）に、本制度上の疾病として認められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 石綿ばく露期間概ね3年以上 ② 著しい呼吸機能障害がある <ul style="list-style-type: none"> ※パーセント肺活量（%VC）が60%未満である場合など ③ 一定以上肥厚の広がりがある <ul style="list-style-type: none"> ※胸部CT画像上に <ul style="list-style-type: none"> ◆片側のみ肥厚がある場合 → 側胸壁の1/2以上 ◆両側に肥厚がある場合 → 側胸壁の1/4以上
後腹膜線維症	<p>後腹膜に線維が増殖する極めて稀な疾患です。そのため、診断が非常に困難であることから、調査・認定部会が協議した上で、本制度上の疾病として認定するか否かの判断をします。</p>